

せたな

平成17年 新年のごあいさつ

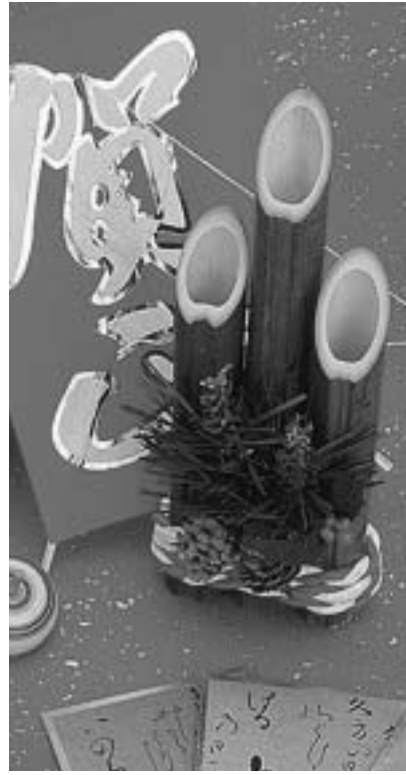
新しい歴史と夢を
皆さんとともに

平成17年9月1日、瀬棚町、北檜山町、大成町の3町が合併し、
檜山管内で一番大きな町となる「せたな町」が誕生します！

新しい活力あるまちづくり、 歴史づくりのため、私たちの勇気に 誇りをもって、皆さんとともに

新たな歴史の始まりを 皆さんとともに…

瀬棚町長 平田泰雄



新年あけましておめでとう
ございます。

町民皆さんには、希望に満ちた新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

この一年が、昨年にも増して明るく健康で過ごされますようお祈りいたしますとともに、日頃、まちづくりにお寄せいただき、ありがとうございますお力添えに對しまして、心から感謝とお礼を申し上げます。

平成16年を振り返って

昨年を象徴する世相漢字のトップは「災」。新潟県中越地震や相次ぎ上陸した台風による被害などがその理由でした。

毎年のように暗い話題が多い一年でしたが、真紅の大優勝旗が初めて津軽海峡を渡った駒大苫小牧高校の甲子園での活躍は、私たち北海道民に大きな感動を与えてくれました。

さて、瀬棚町の一年を振り返りますと、3月に有機農業推進特区が認定され、民間による新たな農業の取り組みが始まりました。4月には日本初の洋上風車が本格稼働、生活支援ハウスがオープンしました。また、医科診療所に電子内視鏡などが導入され一層の医療の充実が図られました。6月には姉妹都市アメリカハンフォード市から訪問団の皆さんが来町、札幌でのYOSAKOIソーラン祭にも参加されました。

た。11月には当町からハンフォード市を訪問し、今後の交流を確認してまいりました。

過去、最も多くの台風が日本に上陸した年でした。中でも9月の台風18号は日本海沿岸を直撃。当町にも大きな被害を及ぼしました。一方、真夏日の記録となった夏の異常気象など、不安定な一年でもありました。

檜山北部3町の合併については、昨年4月に始まりました法定協議会での協議を終え、12月の協定調印式、そして3町議会で合併関連議案が可決されました。

いよいよ本年9月1日。新生「せたな町」が誕生します。

新たな歴史が 始まります

明治13年、「瀬棚」誕生から125年余りの歳月が流れ、町の歴史は瀬棚に住む人々の歴史として息づき、幾多の困難を乗り越

えながら今日の瀬棚町へと引き継がれてまいりました。

時代は、明治から大正、昭和そして平成と移り、人々の暮らしぶりや町政をめぐる環境が大きく変わる中で、地方主権を柱とした地方制度改革を目的とする国の強い方針が示されました。平成の大合併と言われる一連の流れは、自治体の声が届くことなく地方財政への圧迫という形で国の強い指導のもとに進められてまいりました。

過疎化の進行と少子高齢化、慢性的な財源不足が続くという大変厳しい状況の中において、私たちは何とか合併せずに活気のある元気な町を取り戻そうと頑張つてまいりました。

合併協議は、こうした矛盾の多い中での議論でしたが、こんな時代だからこそ、いち早く3町が力を合わせるこの大切さを認識し、合併の道を選びました。

合併後の新しい町づくりは、決して平坦な道程ではないと思いますが、地域主権の自覚の

もと、3町の和をもって新しい活力ある町づくり、新しい歴史づくりのため、私たちの勇気に誇りをもって、町民みなさんとともに進めてまいりますことをお誓いし、これからも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



苦勞のかいがあるまちづくりを

瀬棚町議会議長 柳田 眞

明けゆく平成17年の念頭にあたり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

町民の皆さまには、ご家族おそろいで健やかに新しい年をお迎えなされましたこととお慶び申し上げますとともに、昨年瀬棚町議会にいただきました深いご理解とご協力に対し、深甚なる感謝をいたし、新年のご挨拶を申し上げます。

さて、かえりみる平成16年は、オリンピックで史上最多のメダル獲得、イチロー選手が48年ぶりに塗り替えた大リーグの最多安打、北海道でも日本ハムファイターズのプレーオフ進出、さらに夏の高校野球では越えたことのない白河の関を飛び越えて真紅の優勝旗を持ち帰った駒大苫小牧高校の快挙など、喜びの話題も切れ目無かった反面、大雨や大型台風さらには中越地震など、復興の道のりの厳しい地域が数多くあり、南西沖地震を経験して痛みを知る私たちとしても心からお見舞いを申し上げたいと存じます。

瀬棚町におきましても台風18号、その後の低気圧による暴風・高波などで大きな被害を受けましたが、人的被害がなく、このことは心安まることであ

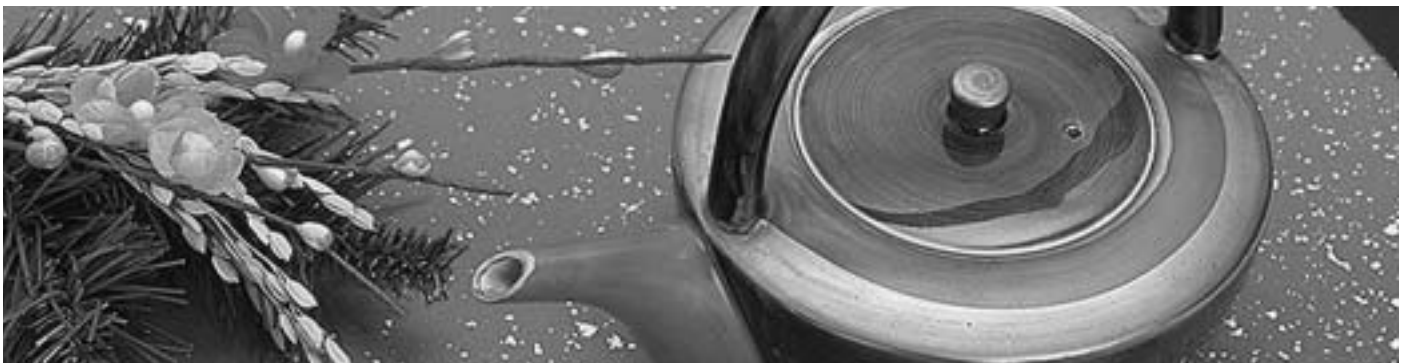
ろうと思っております。

災害が発生するたびに打撃を受ける一次産業の町、檜山北部3町が旧自治体の姿形をはっきりと残しながら、合併というひとつの町として力を結集し、先人の築いた輝かしい歴史を忘れることなく、新しい歴史の第一歩を踏み出す3町合併調印式が師走の7日に行われました。素直に思うに、出来るなら単独で生きた方が良いのかも知れません。しかし、郷土の明日と次代を考え、一点の曇りもない量りと物差しに計ったとき、合併の選択は課題と期待が背中合わせであったとしても誤りではないと考えます。

苦勞して互いに譲り合ってこぎつけようとする合併が、苦勞のかいがあったといわれるまちづくりを皆さまとともに進めたいと考えます。

この平成17年は大きな変革の年であるのかもしれませんが、難題続きの中でありますが、地方議会の責任と役割をしっかりと果たして参ります。

町民皆さまの本年のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。挨拶といたします。



たくましく心豊かな「せたなっ子」

瀬棚町教育委員長 工藤芳江

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

日ごろより児童生徒の健全育成に関係機関また、地域の皆さまのご支援やご協力に對し、まして心より感謝とお礼を申し上げます。子どもたちも総合的学習時間では、皆さまのご指導をいただきながら、瀬棚の恵まれた自然環境の中で特色を活かした学習をしているところでもあります。

スポーツの年であった昨年は、さまざまな選手たちの活躍を通じて、子どもたちは感動を受け、物ごとに関心を持ち「かわる力」が一層強まり、粘り強く最後までやり抜くということを学ばれたことと思えます。部活動また、スポーツ少年団などの活躍でも日々の努力の積み重ねにより、夢を持ち、大きな希望と勇気が得られることと思えます。

最近、全国各地で子どもが被害者となる事件が続発し、また、子どもたちによるさまざまな犯罪も発生していることに驚き、心を痛めているところであり、誠に残念なことであり、少子化、都市化、核家族

化、希薄化などが問題となろうかと思われま。

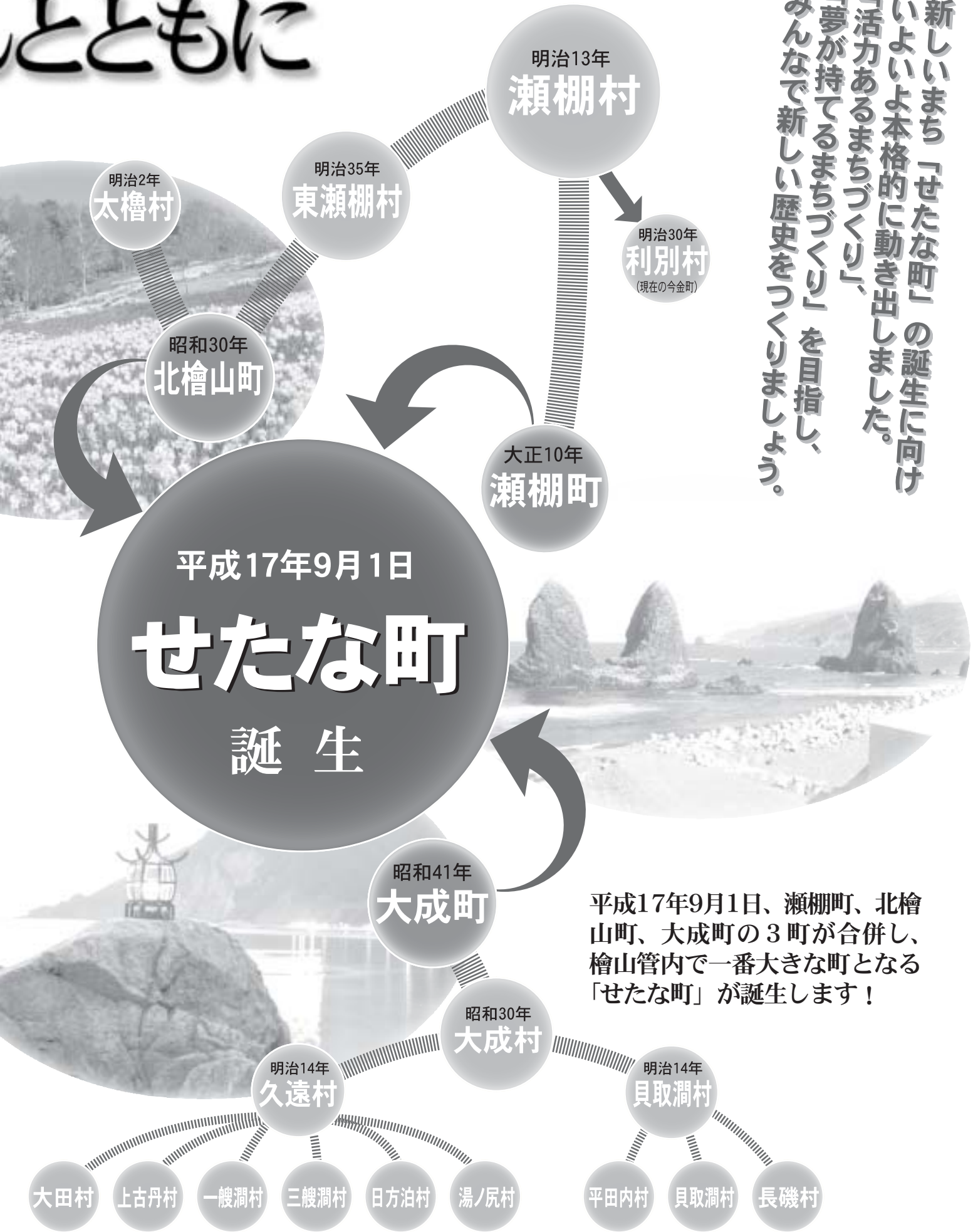
国の政策により檜山北部3町の合併も決まり、また、義務教育費削減問題などが取りざたされる中、子どもたちも今までと違う何かを感じ得ていることかと思われま。子どもたちの教育は、家庭教育が基礎となり、さらに学校教育と社会教育が一体となることが望まれ、家庭でしつけられ、学校で学び、社会で育てるものと思われま。

学校では瀬棚町教育推進の重点の人間像「せたなっ子」を育むよう各学校が一丸となつて教育の実践に取り組んでいるところでもあります。たくましく、心豊かな「せたなっ子」の健やかな成長を願つて、家庭、学校、地域の連携により、3町の合併がなされても今までと変わらない子どもたちの成長、また、より以上の進展を見守つていかなければならないものと思ひま。

今年も皆さまのさらなるご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、平成17年は皆さまにおかれましては最良の年でありませうとご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

とともに

新しいまち「せたな町」の誕生に向けて
「活力あるまちづくり」、
「夢が持てるまちづくり」を目指し、
みんなで新しい歴史をつくりましょう。



新しい歴史と夢を皆さん

これまでの経緯

平成15年	
2月7日	檜山北部4町長会議にて任意合併協議会を2月をめぐりに設置することで合意
2月25日	檜山北部4町合併問題協議会設置（会長：大成町長）
～8月13日	第1回～第4回合併問題協議会
8月31日	市町村合併講演会の開催（大成町町民センター）
9月17日 ～12月26日	第5回～第8回合併問題協議会
平成16年	
1月22日	第9回合併問題協議会 今金町が離脱 法定協議会設置協議
2月20日	第10回合併問題協議会
3月25日	第11回合併問題協議会
3月8日 ～19日	「檜山北部3町合併協議会設置」に関する3町の議決
4月1日	「檜山北部3町合併協議会」設置
4月7日	第1回合併協議会（北檜山町）
4月23日	第2回合併協議会（瀬棚町）
5月14日	第3回合併協議会（大成町）
5月28日	第4回合併協議会（北檜山町）
6月25日	第5回合併協議会（瀬棚町）
7月23日	第6回合併協議会（大成町）
8月27日	第7回合併協議会（北檜山町）
9月24日	第8回合併協議会（瀬棚町）
10月8日	第9回合併協議会（北檜山町） 町名が「せたな」に決定
10月22日	第10回合併協議会（大成町）
11月10日	第11回合併協議会（瀬棚町）
12月7日	合併協定調印式（北檜山町）
12月21日	第4回定例議会で合併に係る関連議案を議決

瀬棚の合併論議の歴史

昭和29年2月に檜山支庁管内町村合併促進委員会から「太櫓村」、「瀬棚町」、「東瀬棚町」の対等合併を適当とする意見が具申されたことから、合併論議が行われることに。（昭和の大合併）

翌昭和30年2月に「三町村合併連絡協議会」を設置し、議論を進めたが「新町名」と「庁舎の位置」がまとまらず協議は難航。

その後、瀬棚町が町民大会を開催し、合併には基本的に賛成だが、庁舎の位置を瀬棚町にすることが絶対条件となったことで、それを大会の決議文として3月7日に開催された第3回の連絡協議会へ提出。それにより3町村の合併が困難となり、協議会は解散。

後日、太櫓村と東瀬棚町が合併し北檜山町が誕生。

柴崎庄次郎さんにお話を伺いました

昭和30年当時の町議会議員で、現在もご健在なのは柴崎さんお一人です。それから50年、3町による合併が決まり、その当時を振り返りながら新町「せたな町」に寄せる思いを語っていただきました。

－当時の瀬棚の状況は？

とにかくお金がなかった。私が町議になった昭和22年から8年間に、町長が5人も替わるほどだった。このままでは瀬棚町がなくなってしまうという危機感が強かったな。

－結果的に合併しませんでしたか？

やはりお互い自分の町に対する思いがある。瀬棚はこのままでは衰退するという雰囲気があったから、役場庁舎をを主張したが意見が合わず協議が終了した。町民大会では、ほとんどが合併反対だったな。

－厳しい財政の中でやっていけましたか？

昭和31年から7年間、財政再建計画により建て直しを行った。議員定数も減らした。一番つらい時期だったが、何とか持ち直したな。

－あれから50年。今回の合併について？

いずれはこんな時代が来ると思っていたが、当時と今で大きく違うのは、役場の仕事の量だ。これからもどんどん増えてくる。先のことを考えたら、ある程度力をつけることが大事だ。

－新町に期待することは？

そりゃ、高齢者が暮らしやすいことが一番だが、みんな仲良くやっていくという気持ちが大切。自分のことだけでなく、町全体のことを考えなければだめだね。このまま健康ならあと40年生きられるらしいから、楽しみにしている。

柴崎さんのお話は2時間を超えました。今回は、ほんの一部しかご紹介できませんでしたが、今もなお情熱あふれるお話を伺うことができました。ありがとうございました。



柴崎庄次郎氏 ●大正2年3月16日生（91歳）●元浦1区在住●瀬棚町議会議員として昭和22年から昭和55年までの9期33年間在職（うち副議長4期16年間）●昭和55年瀬棚町功労表彰を受賞●現在も瀬棚町及び檜山管内老人クラブ連合会会長とあわせ北海道老人クラブ連合会の理事として活躍中である。



**ご利用ください
北檜山職業相談室での
取り扱いについて**

雇用保険受給手続きから認定・給付まで、ご本人の申し出により八雲出張所での取り扱いができますのでご利用ください。

また、お仕事に関するご相談を派遣日以外でも随時行っておりますのでお気軽にご相談ください。

なお、1月と2月の函館公共職業安定所職員の北檜山職業相談室派遣日は、次のとおりです。

◎日時

- ・1月5日 午前9時～午後5時
- ・1月12日 午後9時～午後5時
- ・1月19日 午前9時～午後5時
- ・1月26日 午前9時～午後5時
- ・2月9日 午前9時～午後5時
- ・2月23日 午前9時～午後5時

問合せ 北檜山職業相談室

☎ 4・5724

問合せ ハローワーク函館

☎ 0138・26・0735

問合せ ハローワーク八雲

☎ 01376・2・2509

気軽に相談を

**「聞こえ」と「ことば」の
相談について**

「聞こえ」や「ことば」に心配のある新生児から、乳幼児、小学生、中学生の相談を受け付けています。

次のようなことにお気づきになられたら、できるだけ早めにご相談ください。(相談は無料です)

- ・新生児聴覚スクリーニングで聞こえに気がかりなところがあると言われた。
- ・1歳を過ぎててもことばが出ない。

- ・発音や話し方がはっきりしない。
- ・言葉が増えない。
- ・聞き返しや聞き誤りがある。

早期からの「聞こえ」の補償が、ことばの発達を促し、聞き取りや発音などの改善に大きな役割を果たします。

また、各教育機関や教育センター、病院、保健所(センター)などの専門機関とも連携して、保護者や指導者からの相談を受け付けています。

問合せ 函館聾学校教育相談室

☎ 0138・52・1658

**お早めに提出を
確定申告が2月から
始まります**

平成16年分の所得税(住民税及び個人事業税)の確定申告の相談及び申告書の受付が2月16日(水)から始まります。(還付申告の受付は、1月から始まっています)

所得税の確定申告の相談及び申告書の受付は3月15日(火)、消費税及び地方消費税(個人事業者)の確定申告の相談及び申告書の受付は3月31日(木)まで

感謝状の授与



廣澤ノブ子さん (元福祉委員)

昭和52年12月から今年11月の退任まで27年間にわたり、瀬棚町福祉委員としてその職務に尽力された廣澤ノブ子さん(三本杉)に12月6日、役場で町長より感謝状(瀬棚町表彰条例に基づき)が授与されました。

清水國明さんが瀬棚町に来ます！

瀬棚町新エネルギー講演会

演題「自然と共に生きる新エネルギー時代」



と き：2月5日 日

開 演：午後1時30分 (開場：午後0時30分)

と ころ：瀬棚町町民センター

(タレント・自然暮らしの会代表)
しみずくにあき

講師：清水國明 氏

入場無料
先着300名

【講師プロフィール】・1950年福井県生まれ・1973年にフォークデュオ「あのねのね」で、芸能界デビュー・1995年に自然暮らしの会結成。代表を務める。・現在はタレントとしての活動のほかに、自然体験イベントや講演活動も多い。

主催：北海道経済産業局・瀬棚町・財団法人新エネルギー財団
お問い合わせ先：瀬棚町役場産業振興課 ☎01378-7-3311

コリドー交流情報館

～行ってみよう！となりまち～

長万部町

皆さんもお立ちよりください 町民センター「鉄道村コーナー」

町民センターの鉄道村コーナーでは、「ミニチュア鉄道模型」が大人気。操作盤をコントロールしながら列車を動かすと、気分は運転士！●場所／高砂町（センター通り）●時間／午前9時～午後5時●休館日／月・火曜日、祝日の翌日●お問い合わせ先／町民センター ■01377-2-5396

八雲町

冬も暖かい温水プール 八雲町温水プール

インストラクターによる水泳・水中運動「ワンポイントアドバイス」を実施中！※歩行用流水プール、幼児用、アクアトレーナー2基（水中歩行マシン）、ジャグジー、採暖室、シャワー室完備。石鹸、シャンプー持参可能。●プール使用料／大人300円、高校生・60歳以上200円、小・中学生100円●お問い合わせ先／温水プール ■01376-3-3238

熊石町

お腹も満足！心も満足！ 国民宿舎「ひらたない荘」

あわびを豊富に使った料理が低料金の宿泊コースで楽しめます。●1泊2食宿泊プラン（税込）／あわびフルコース（あわび料理10品）13,960円、ふるさと御膳コース（あわび料理7品）9,960円、通常コース 大人（中学生以上）7,100円 小学生 6,070円 幼児は無料（寝具は別途料金）●お問い合わせ先／ひらたない荘 ■01398-2-3330

大成町

あわび鍋などの特別料理も 国民宿舎「あわび山荘」

露天風呂で心と身体を癒し、旬の素材をいかした郷土料理でゆったりはいかが。※あわび鍋など特別料理もあります。●場所／貝取洞 ●宿泊料／大人7,100円、小学生6,060円、幼児1,460円（寝具のご利用のみ）※1泊2食付税込 ●お問い合わせ先／国民宿舎あわび山荘 ■01398-4-5522

北檜山町

好評発売中です 地酒「よしこ」

檜山産のきらら397を100%使用。芳醇で辛口の味わいは新鮮な魚介や鍋物にピッタリ！●価格／原酒720ml 1,500円、特別純米酒720ml 1,500円、特別純米酒一升瓶 2,980円 ●販売先／温泉ホテルきたひやま、北檜山町内各酒飯店 ●お問い合わせ先／温泉ホテルきたひやま ■4-4120 町内各酒飯店

今金町

道南でパウダースノー ピリカスキー場

●リフト券料金（1日券）／大人2,800円、小人・シルバー2,150円 ※回数・ナイター・シーズン券も有。団体割引は10人以上から。●営業期間／3月中旬まで、ナイターは12月18日から2月末日まで（予定）。●お問い合わせ先／クラブピリカ TEL01378-3-7111

です。申告書は、前年の「確定申告書の控え」や「確定申告の手引き」などを参考に、ご自分で作成し、お早めに提出してください。

また、申告書は国税庁ホームページの「確定申告コーナー」で簡単に作成することができます。

作成した申告書は送付により提出できます。

税務署の申告相談会場にお越しの際には、印鑑、前年の確定申告書などの控え、使い慣れた「計算器具」や「筆記具」をご持参ください。

なお、税務署の閉庁日（土・日曜日・祝日など）は通常、税務署での相談及び申告書の受付

は行っておりませんのでご注意ください。

関倉 八雲税務署
■01376・3・2195

**法律が改正されました
配偶者からの暴力に
悩んでいる方へ**

配偶者暴力防止法が改正されました。

保護命令の対象を、子どもや離婚した元配偶者まで拡大するとともに、退去命令の期間を2カ月に延長することなどを柱とした改正法が成立し、平成16年12月2日に施行されました。

○改正の主な内容

・「配偶者からの暴力」の定義の拡大

・保護命令制度の拡充

・市町村による配偶者暴力相談支援センターの業務の実施が可能

・基本方針、基本計画の策定

・被害者自立支援の明確化など

・警察本部長などの援助

・苦情の適切かつ迅速な処理

・国籍、障害の有無を問わない人権の尊重

関倉 檜山支庁環境生活課
■01395・2・1010

総務町民課戸籍年金係からのお知らせ

担当：浜登幸恵

国民年金保険料 口座振替の耳より情報



「時間がなくて納めに行けなかった」「うっかり忘れてしまった」という経験はありませんか？どうでしょう！口座振替を利用してみませんか？金融機関で手続き（納付書・通帳・通帳の印鑑が必要）ができますので、ぜひご利用ください。

今年4月より、納付期限の1か月前に引き落とすことによる、割引制度が実施される予定です。詳しい手続きなどについては分かりしだい、皆さんにお知らせしたいと思います。このほか、4月からは国民年金についての制度改正が予定されています。これらの制度を利用しながら、自分のため、家族のために、自分の年金は自分で守りましょう。ご不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

**自分の年金です！まずは自分の年金を自分で知る！
そんな新年のスタートはいかがでしょうか？**

国民年金保険料は期限内に納めましょう！

縁起物の「もちつき」で新年も元気に！

Koho - kenbunroku



おおきな杵（きね）に負けじと真剣顔でもちつき



おいしいつきたてのおもちをみんなで

12月16日、瀬棚保育所で、町内（島歌、瀬棚、馬場川）保育所合同もちつき会が行われました。毎年恒例となつていているこのもちつき会では、町内の3つの保育所の子どもたちが集まり、「元気に「よいしょよ！」「よいしょよ！」という掛け声で、交代しながらもちつきを行いました。中でも小さな子どもたちは大きな「うす」と「きね」に負けそうになりながらも、力強くもちつきを行いました。もちつきの後は、つきたてのおもちをみんなで、いろいろな味付けで楽しみました。

編集後記

▼皆さん明けましておめでとうございます。9月には新町「せたな町」が誕生ということで、新しい歴史の一步を踏み出すこととなります。今回、お話を伺った柴崎さんからは、ますます高齢化が進むことを考えると、こうした選択が最善だろう。いずれまた「合併の波」が押し寄せたときに力のある町になっていないと。そして、これからが大切。みんなで手を取り合い頑張っている町に…。などと、瀬棚町を築いてきた大先輩のお言葉は大変勉強というか、身にしみました…。▼今回で5回目（そんなになるんですね）となる新年号の手作り表紙シリーズですが、今年は新町誕生と西年が連想できるものということで「卵」を選びました。意外と苦労したのが卵を置く仕切りを探すことで、昔はよく見たこの仕切りも、今はパック詰が主流なのでなかなか見つかりませんでした。今の小中学生は見たことないかもしれません…。（結局、給食センターで分けてもらいました）あと、気づいてくれないとさびしいので言ってしまうのですが、卵に張ってあるシールをよく見ると、漢字の「瀬棚」と平仮名の「せたな」の下に書いてある日付が微妙に違います。それ以上は言いません…。シールいびつな丸型ですが、自作のためご勘弁を…。ちなみ作品は毎年、戸籍の窓口に飾っていましたが、今回は生ものなので展示はしません。それでは本年も広報「せたな」をご愛読よろしくお祈いします（尾